

今後の主な検討課題と論点（案）

1. 国債管理政策の在り方

○国債の平均償還年限の長期化の在り方

【論点】

- ・長期化に伴うメリットとコストの整理
- ・投資家動向の把握
- ・将来の発行環境の見通し

○国債市場の流動性について

【論点】

- ・国債市場の流動性の現状
- ・国債市場の流動性の維持・向上に向けた取組

○物価連動国債の市場育成

【論点】

- ・物価連動債の発行状況
- ・個人向け販売拡大（新型窓販）
- ・流通促進に向けた方策

2. 国債保有構造の多様化に向けた取組

○個人保有の促進

【論点】

- ・個人向け国債の商品性改善
- ・物価連動債の新型窓販

○海外保有の在り方

3. 外部環境の把握

○財政健全化に向けた取組内容

○国債需給を巡る市場環境（日本、欧米）

○国際金融規制（バーゼル規制）を巡る動き

4. 国債市場のインフラ整備

○T+1決済への移行（30年度上期）に向けた取組

○クロスボーダー担保取極の進展